

## 【件名】

### 小児科の新設について

#### 【内容】

城廻周辺には小児科が無く、大船駅まで出るか藤沢市方面まで歩かないとありません。総合病院では待ち時間が長く、急に体調を崩した子供を早急に診てもらえません。

県道 312 号線沿線では柄沢の開発を受け、様々な施設が建設されているところですが、その中に医療モールまではいかなくとも小児科を新設して頂きたいと思います。城廻や柄沢など若年層のファミリー世帯が増えてきており、小児科のニーズは高まると思います。

前向きな検討よろしく願いいたします。

#### 【回答】

数年前から、全国的に、小児科医の不足により診療に支障をきたしていることが報道されており、鎌倉市においても城廻地域に限らず同じような状況です。

本市では、平日の夜間・休日の入院を要しない小児科の休日夜間急患診療所の運営を鎌倉市医師会に委託しておりますが、この診療所においても小児科医の不足と高齢化に伴い、小児科医の配置は年々難しくなっており、委託先である鎌倉市医師会では大学病院から小児科医を招へいし対応している状況です。

鎌倉の子供たちが、安心して成長し、暮していくためには、十分な小児医療体制の確保は必須だと考えています。小児医療機関の偏在性についても課題でありますので、今後とも鎌倉市医師会等と連携・協力しながら今後も鎌倉市の小児医療の充実に努めてまいります。

平成 28 年 4 月 28 日対応／回答